

## 笑顔いっぱいの運動会

### <みんなで積み上げ、追究すること>

45分間の授業では、挨拶をした後にまず授業の目当てを確認し合います。「今日は〇〇ができるようになろう」「今日は△△について学習します」「◇◇を完成させよう」など。続いて前の授業の復習をしたり、定着をねらってドリル的なことをしたりする場合があります。授業の本題に入ると、教科の特性によって違いはありますが、教科書を見たり先生の話の聞いたりしながら、「これはどうして～なんだろう」「他にもやり方はないだろうか」「この時どのような気持ちだったのだろうか」といった疑問が生まれてきます。追究が始まります。個人で考え、あるいはペアやグループであーでもないこーでもない意見を戦わせながら、学習が進んでいきます。

- ・自分の考えが正しいと思っていたところ、友だちの意見を聞くうちに違う考えが浮かんできた。
- ・友だちの考えを聞いて、更に付け足して自分の考えがまとまった。
- ・友だちの考えを聞いて、すごく迷っている。
- ・友だちの意見から、「なるほど」と思って自分の考えがまとまった。

こうした状況を経て、子どもたちの意識は高まり、集団が成長していきます。先生の言われるとおりに書いたり考えたりしているだけでは、意見は出ませんし追究も望めません。このように子どもたちが意見を出し合い、考え、追究することを日々続けていく、これが学びとなっていきます。こうした学びは簡単に崩れることはなく、授業が終わっても子どもたちの中に財産として残り、別の授業や行事等にも反映されていくことでしょう。こつこつ積み上げてきたこと、追究してきたことは、授業が済んで終わり、ではなく必ず次につながっていくものです。

私たちは今回の開校記念運動会を、保護者や地域の方々の中で行う「授業」と位置づけました。行事があるからやる、先生から言われたとおりにやって発表する、こうした状況から脱却し、クラスや学年で学び合い全校で学び合い当日を迎える。そんな運動会を目指しました。子どもたちからは、次のような意見・感想がありました。

- ・ぼくはお話を聞けるようになったと思いました。
  - ・1年生を転ばせないように自分で考えてできてうれしかったです。
  - ・みんなと一緒に頑張ろう、と励ましてくれたのがうれしかった。
  - ・自分たちが考えた波をテーマにしていたから、手をバシャバシャしてみました。それでちゃんと波が表現できて、練習の時先生が撮ってくれたビデオもちゃんと波のようになっていて、これで本番もいだろうと思いました。
  - ・本番はバトンパスもうまくできてそのおかげで2位になりました。このことが一番うれしかったです。みんなで力を合わせたからだと思います。みんながいたから、楽しく運動会ができたと思います。来年も頑張りたいなあと思います。
  - ・バランスを崩しても隣の人が支えてあげてくれてすごいと思いました。
  - ・6年生からは、我慢ときびきび動くことを学んだ。
  - ・できないからやらない、じゃなくて、少しずつやればできる、と思いつつ練習すれば、できるようになることを学びました。
- 通常の授業のように友だちと追究してきた結果、様々なことを学んだことが分かりました。また、次のような姿も見られました。

- ・周りに人がおらずたった一人になっても赤組の応援をやり続けた。
- ・最後になっても決して力を抜かずゴールまで走り抜いた。
- ・鼓笛や応援団の練習を忘れずに取り組んだ。
- ・バトンの受け渡しや走順を工夫し作戦を考えた。
- ・係の仕事、自分たちの競技、応援団の仕事とやることがたくさんあって忙しくて、不平もなく一つ一つこなしていた。

運動会に向けて気持ちが揃い、様々なところに自信、達成感、学びの深まり、意欲、自他の理解といった育ちの姿を感じました。終了後の満足げな子どもの表情、競技中・競技後の笑顔、大変印象的でした。このことは必ずこれからの授業、学年行事、音楽会等につながっていきます。

前日準備、後片付けをはじめ、子どもたちの活動を支えていただきました保護者の皆様、地域の皆様ありがとうございました。ご支援のおかげですばらしい運動会となりました。今後も引き続きご協力、ご指導をいただければ幸いです。よろしくお願いたします。

